

令和6年度上半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

所管課	ぎふ魅力づくり推進部 市民スポーツ課		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日		
選定方法	☒ 公募 非公募		
料金制	☒ 使用料	利用料金	料金徴収なし
指定管理委託料(年額)	6館及び2プール一括 174,888,000円		
施設の設置目的	スポーツを振興し、市民の心身の健全な発達を図るため		
施設名	(1)岐阜市民総合体育館	所在地	岐阜市九重町4-24
施設概要	開設年月 昭和45年10月 競技場(40m×27m) バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン6面、卓球20台 卓球場、剣道場、柔道場、相撲場、格技室、トレーニングルーム、第2トレーニングルーム、弓道場、射撃場		
施設名	(2)岐阜市岐陽体育館	所在地	岐阜市上川手735-2
施設概要	開設年月 平成12年4月 競技場(31.5m×28m) バスケットボール1面(練習2面)、バレーボール2面、バドミントン6面		
施設名	(3)岐阜市南部スポーツセンター	所在地	岐阜市南鷺5-86
施設概要	開設年月 昭和54年5月 競技場(36m×34m) バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、テニス2面、卓球16台 柔道場、剣道場、トレーニングルーム、グラウンド・ゴルフ場		
施設名	(4)岐阜市東部体育館	所在地	岐阜市芥見4-68
施設概要	開設年月 昭和59年6月 競技場(36m×34m) バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、テニス3面、卓球16台 体育室		
施設名	(5)岐阜市西部体育館	所在地	岐阜市南鏡島2-8-40
施設概要	開設年月 昭和60年6月 競技場(36m×34m) バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、テニス2面 卓球場、柔道場、剣道場、トレーニングルーム		
施設名	(6)岐阜市もえぎの里多目的体育館	所在地	岐阜市柳津町下佐波西1-41
施設概要	開設年月 平成28年7月 競技場兼集会場(36m×24m)・ステージ(204.07㎡) もえぎの里3階 アリーナ、トレーニングルーム		
施設名	(7)岐阜市南部市民プール	所在地	岐阜市南鷺4-120
施設概要	開設年月 昭和55年7月 一般プール(25m×20m・10コース) ・ 幼児プール(414㎡)		
施設名	(8)岐阜市本荘市民プール	所在地	岐阜市寿町2-13
施設概要	開設年月 昭和55年7月 一般プール(25m×14m・6コース) ・ 幼児プール(70.88㎡)		

●利用状況

(1) 岐阜市民総合体育館		R6 上半期	R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期
利用者数(単位:人)		52,603	42,067	46,949	42,890	40,674
各室稼働状況(%)	競技場	89.7	81.4	87.9	86.7	84.6
	剣道場	34.4	32.3	27.8	33.5	30.4
	柔道場	26.4	26.4	25.4	24.7	20.1
	格技場	30.4	29.0	28.6	26.4	23.3
(2) 岐阜市岐陽体育館		R6 上半期	R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期
利用者数(単位:人)		15,857	15,251	15,201	14,541	13,770
各室稼働状況(%)	競技場	90.0	92.7	89.6	94.7	89.2
(3) 岐阜市南部スポーツセンター		R6 上半期	R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期
利用者数(単位:人)		30,145	27,823	30,283	26,713	28,835
各室稼働状況(%)	競技場	94.4	93.4	88.3	83.0	94.3
	剣道場	51.7	49.9	58.6	47.1	52.3
	柔道場	27.1	24.4	52.2	22.8	27.4
	グラウンド・ゴルフ場(人)	34	32	36	96	78
(4) 岐阜市東部体育館		R6 上半期	R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期
利用者数(単位:人)		21,094	20,706	22,002	19,781	19,551
各室稼働状況(%)	競技場	89.4	91.7	90.7	92.9	88.1
	剣道場	41.0	46.2	39.2	39.4	36.9
(5) 岐阜市西部体育館		R6 上半期	R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期
利用者数(単位:人)		38,471	35,497	36,420	32,134	34,027
各室稼働状況(%)	競技場	94.8	96.6	96.1	87.0	94.5
	剣道場	25.0	33.7	26.9	33.5	32.1
	柔道場	22.1	20.1	26.4	23.4	20.6
(6) 岐阜市もえぎの里多目的体育館		R6 上半期	R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期
利用者数(単位:人)		30,725	29,636	30,740	26,769	26,178
各室稼働状況(%)	競技場	82.1	78.8	82.4	83.4	85.8
	アリーナ	88.7	92.1	87.7	85.6	84.1
(7) 岐阜市南部市民プール		R6 上半期	R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期
利用者数(単位:人)		13,455		14,287		11,220
各室稼働状況(%)						
(8) 岐阜市本荘市民プール		R6 上半期	R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期
利用者数(単位:人)		4,635		4,940		3,543
各室稼働状況(%)						
		R6 上半期	R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期
利用者数合計(単位:人)		206,985	170,980	200,822	162,828	177,798

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④利用者からの意見を聞くためアンケートボックスの設置 ⑤苦情への対応	①遵守、適切な運用に努めている。 ②利用者サービスの提供に支障のない適切な人員配置となっている。業務を適切に遂行できるよう、適宜研修を実施している。 ③ホームページやSNS、広報誌等の媒体を活用した広報活動を実施している。 ④アンケートボックスを設置し、利用者からの意見聴取に取り組んでいる。 ⑤苦情や要望に対し、適切に対応している。なお、各館長が共通認識を持てるよう「館長会」を行い、各館統一見解により業務にあたっている。
指定事業・自主事業	【指定事業の実施】 ①体育館スポーツ教室 ②プール事業 【自主事業の実施】 【スポーツ事業助成の実施】	【指定事業】 ①第1回体育館スポーツ教室(4月～9月) 44種目 65講座 定員2,125名 申込者数1,259名 <参考:昨年度> 45種目 65講座 定員2,182名 申込者数1,257名 ②市民プール開設(7月～9月) 開設期間:7月13日～9月8日 開設予定日:49日 開設日:49日 開設時間:10時00分～17時00分 プールデー:7/21、8/18の2日間開催 来場者数:1,781名(前年度1,614名) 総利用者数 ・南部市民プール13,455名(前年度14,287名) ・本荘市民プール 4,635名(前年度 4,940名) 【自主事業】 ・FIAT CUP(5月、9月) FIAT CUP(5/26) 参加者数:290名、参加チーム:28チーム FIAT CUP(9/1) 参加者数:330名、参加チーム:42チーム ・図書返却ポストの設置(常設) 【スポーツ事業助成】 ・令和6年度下期(10月～3月)実施分 スポーツ助成審査会を9月2日に開催した。 申請件数1件 助成件数1件
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③施設・設備点検業務 ④消防用設備保守点検 ⑤電気工作物保安管理業務	①日常清掃、定期清掃を適切に実施している。なお、職員によるドアノブ等の消毒を定期的に行い、施設の衛生管理に努めている。 ②警備業務(機械警備)は適切に実施している。 ③施設・設備点検業務は適切に実施している。 ④消防用設備保守点検は適切に実施している。 ⑤電気工作物保安管理業務は適切に実施している。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	上級体育施設管理士のノウハウ及び職員による施設内外の目視巡回点検等から修繕箇所を把握し、適切な修繕を行った。 ・業者による修繕の実施件数 20件 1,998,529円 ・主な修繕 ・プールテント骨組み鉄骨塗装修繕418,000円(南部プール) ・弓道場控室空調機器修繕286,000円(総体) ・窓開閉装置(オペレーター装置)修繕229,900円(東部)
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①条例等を遵守し、適切に対応している。 ②非常時に迅速に対応できるよう努めている。 ③各種研修を実施し、関係法令を遵守した運営を行っている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<施設利用者> ・施設利用者にアンケートを配布し、計画的に実施している。 <来館者：常設アンケート> ・施設来館者から幅広く意見等を収集できるよう、館内にアンケートボックスを設置している。
利用者アンケートの実施結果	①利用者カード(団体利用)の「大変満足」・「満足」の割合 【回収枚数】 6,779枚 楽しく活動できましたか 93.2% 職員の対応はいかがでしたか 92.0% 設備環境はいかがでしたか 92.2% ②第1回スポーツ教室受講者アンケートの「大変満足」・「満足」の割合 【回収枚数】 893枚 満足度 88.2% ◎期待すること 基本を教えて欲しい 48.2% 楽しく教えて欲しい 43.1% その他 8.7% ◎終了後の活動について 自主トレに参加 24.0% 受講生でサークル活動 35.0% それ以外でクラブ活動 17.2% 活動していない 23.8% ③第1回利用満足度UP！アンケートの「大変満足」・「満足」の割合 【回収枚数】 378枚 実施期間：9月7日(土)～9月13日(金) 利用満足度 74.6% 施設は使いやすかったですか 75.1% 附属設備や備品は使いやすかったですか 68.0% 施設的美観は保たれていますか 71.4% 職員は丁寧に対応しましたか 79.9%
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<①利用者カードでいただいた意見> ・防球フェンスの脚部ネジがゆるんでいます。(岐陽) ⇒すぐに職員が点検をして、すべてのネジを締め直しました。 ・女子更衣室のドアが開くと外から見える場合があります。(東部) ⇒目隠し用アコーディオンカーテンに加え、新たに衝立を設置しました。 ・前の団体が清掃をしていなかった。(総体) ⇒前の利用者に使用後の清掃について再度お願いし、掃除道具入れに表示を行いました。 - また職員による館内巡回も行います。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・条例等に基づいた管理運営が適正に行われているか。 また、そのためのモニタリングは実施されているか。	A	A	A
		個人情報の保護等	・個人情報の保護についての管理対策は適切に実施されているか。	A	A	A
		広報の方策	・平等利用のための適切な広報活動ができているか。	A	A	A
		情報公開	・市の情報公開制度に基づき適切に実施されているか。	A	A	A
		区分評価				A
効果性	対象施設の 効用(設置 目的)を最大 限発揮され るものであること	事業計画の履行状況	・実施計画どおりに事業が実施されたか。また、計画どおりの成果があったか。	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか。	A	A	A
		指定事業・自主事業(・共催事業)の内容	・施設の設置目的にあった事業となっているか。成果があったか。指定管理者の有する人材・ネットワーク・経験を活かすことができたか。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及びサービスの質を確保するための体制	・利用者ニーズ等を把握するために、アンケート調査等を実施しているか。また、寄せられた意見に対しては、適切に対応しているか。運営に反映しているか。	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・積極的な広告宣伝の実施により、利用者の拡大を図っているか。	S	S	S
		区分評価				A
効率性	管理経費の 縮減が図ら れるもので あること	管理経費縮減の具体的方策	・具体的な経費削減の方策を掲げ、管理経費の縮減が図られているか。	A	A	A
		予算執行の適正	・適正に執行しているか。また、不要な予算の執行をしていないか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性	・過不足なく適正な人数を配置し、無理のないスタッフ体制となっているか。	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	管理を安定 して行う物 的能力、人 的能力を有 していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・各分野での専門知識、経歴や資格を有するスタッフを配置しているか。	A	A	A
		スタッフの管理、監督体制・人材育成の方策	・職員の管理は適切に行われているか。また、人材の育成体制は整備され、適切に実施されているか。	A	A	A
		緊急時の対応	・事故、災害等緊急時の対策、対応は適切か。	A	A	A
		グループ応募(コンソーシアム)の場合、グループの安定性。単体の場合、その組織体制の安定性。	・コンソーシアムの構成団体本体の経営基盤は安定しており、リスクに対応する十分な体制が整備されているとともに十分な対応がとられているか。また、コンソーシアム内の連携が取られているか。			
		施設の管理	・施設の保守、点検等適切に実施しているか。	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	・業務の再委託先は、原則、地元業者の中から採用しているか。	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか。	S	S	S
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに
対する評価

【公平性・透明性】

■平等利用を確保するための体制、モニタリング

・令和5年度下半期のモニタリング評価委員会の意見を受け、利用者アンケート及び常設アンケートに加え、体育館利用者から幅広い意見を聞くための「利用満足度UP！アンケート週間」を前年度より継続して実施した。また設置場所については、体育館玄関や各室の入口付近に加え、通路やトイレ前など共有部分に設置することで、利用者だけでなく、見学や送迎に来た方からも幅広く来館者の声をいただく機会を増やすよう工夫した。 ※詳細は、【効果性】に記載

実施期間：令和6年9月7日(土)～9月13日(金)

実施場所：岐阜市民総合体育館、南部スポーツセンター、西部体育館、東部体育館、もえぎの里多目的体育館、岐陽体育館

回収枚数：378枚

■広報の方策

・体育館ホームページを活用し、スポーツ教室やトレーニングルーム等の案内だけではなく、総合体育館で管理している無料屋外施設の利用状況について、公園整備課と連携してタイムリーな情報を発信することで、利用者のサービス向上に努めた。

・新たに体育館情報発信のために公式ホームページ・X(旧Twitter)のQRコードを記載したチラシを作成し、窓口で利用者に配布した。

・SNSツールの1つとしてX(旧Twitter)を活用し、トレーナーによるサポート受付時間や地域の清掃活動の様子などを投稿し、市民への積極的な広報活動に努めた。

<投稿内容(一部抜粋)>

・岐阜市民総合体育館の相撲場が取材されました。よろしければご覧ください。

・本日、岐阜市民総合体育館前の岩戸川において、みんなで清掃活動を行いました。

・「初めてで不安」「マシンの使い方が分からない」そんな方お気軽に事務室へお声かけください。

【効果性】

■指定事業・自主事業(・共催事業)の内容

・第1回岐阜市スポーツ教室の募集にあたり、市民スポーツ課及び長良川以北地域と調整を図りながら、ロゴフォームでの申込以外に、紙ベースでの窓口受付の周知を図るため、新たにポスター掲示を作成して体育館窓口に掲示した。

・事前周知を徹底したことで、ロゴフォームにおけるトラブルや苦情は大幅に少なくなった。

・通常の募集が終了した後についても、空いている種目については市民スポーツ課と協議をして延長して追加募集を受け付けた。

・スポーツ推進委員主催のFIATCUP開催にあたり、各体育館において会場確保や公式試合球の提供などの協力を行った。

■利用者ニーズ、苦情などの把握方法及びサービスの質を確保するための体制

・通常の利用者カードによるアンケート収集に加え、幅広く利用者の要望や意見などを取り入れるために“第1回利用満足度UP！アンケート”週間を実施した。

・その結果、利用満足度UPアンケートにおいては、378枚のアンケート回収があり、利用満足度は74.6%となった。 ※満足度は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合

大変満足131件、満足151件、普通84件、不満11件、大変不満1件

・アンケートで寄せられた要望・意見に対しては、すぐに改善できることや今後の検討課題等に分類し、聞き取り調査も行った。特に、すぐ対応できるものに対しては迅速に対応することで、施設利用者の利便性を図り、利用者サービスの質の確保に努めた。

<アンケートで寄せられ改善した事例>(一部抜粋)

・高齢者の筋力アップ、筋力維持のための運動方法を教えて欲しい。

⇒トレーニング指導士がアドバイスをします。サポート日については体調室やSNSで公開しました。

・故障機器について、いつ直るか表記して欲しい。

⇒業者に部品の納品日や修繕完了予定日などを確認をして、表示をしました。

■利用促進、利用者増の方策

・利用者アンケートで要望が多かった総合体育館第2トレーニングルーム(初心者向け)のサポートを9月から開始した。公認トレーニング指導士の資格を有した専門のトレーナーがマシンの使い方や運動時間の目安など、ワンポイントアドバイスをすることで、初めての利用者へのサービス向上を図り、「使い方がよく分かった」「これからは継続してトレーニングしたい」といった声をいただいた。

・公認トレーニング指導士の資格を有する職員が中心となり、総合体育館トレーニングルームの利用者からモニタリングを行うなど、積極的に利用者からの要望や意見の把握に努めて利用促進を図った。

<モニタリングで寄せられ改善した事例>(一部抜粋)

・事前にトレーナーによるサポート受付時間が知りたい。

⇒トレーニングルーム入口及びSNSを使って、事前に月間スケジュールを表示しました。

・鏡が汚れたときに、汚れを拭くための雑巾を設置して欲しい。

⇒鏡を傷つけずに汚れを落とせるよう、鏡の脇に不織布を設置しました。

<公認トレーニング指導士とは>

体育施設に求められるリスク管理、スポーツの法的責任などの施設管理運営、スポーツ科学・医学、栄養学等の理論と、対象や目的に応じた実技指導を通して、施設管理者または指導者としての資質向上と人材育成を目的とした資格。具体的には、ウエイトトレーニングやサーキットトレーニングを正しく安全に行えるように指導する。(公益財団法人日本スポーツ施設協会公認)

・上記の取組みの結果、トレーニングルームの利用者は、前年度下半期と比較して4,538人増加した。

〈以南地域体育館全体のトレーニング利用人数〉

R6年度(上半期)26,386名 R5年度(上半期)23,190名、(下半期)22,729名

【効率性】

■管理経費縮減に繋がる方策

・トイレトペーパーやコピー用紙、消毒液等の体育館共通で使用する消耗品については、6館一括購入することで、消耗品を安く購入するなど経費縮減を図った。
・電気代等の光熱水量費が高騰する中、館内巡回を徹底し、エアコンや館内照明のこまめなオン・オフや利用後の消灯について利用者にもお願いするなど、日常的な節電・節水対策に取り組んだ。

【安定性安全性】

■緊急時の対応

・例年と比較して、夏季において猛暑日が多いことから、全ての体育館に利用者自身で確認できるよう熱中症計器を設置するとともに、利用者カードによる熱中症防止のための「こまめな水分補給」や「換気のお願い」の表示、また改めて窓口での声掛け等において、十分な安全対策(熱中症対策)に努めるよう、重点的に取り組んだ。
・所管課とも連携して、真夏日となる8月9日において暑さ指数(WBGT)を計測するため、黒球熱中症計を全体体育館及び市民プールに導入し、WBGTの測定を1日4回行うとともに、職員が熱中症対策研修会にも参加し、気温や湿度による熱中症対策の傾向等について学ぶと共に、WBGTの指針による注意すべき活動の目安や熱中症の危険性についての意識を高めた。
・緊急時の対応フローをはじめ、台風や地震などの危機管理から施設運営における日常業務まで幅広く業務マニュアルを作成するとともに、体育館長会において全職員にマニュアルを活用するよう徹底を図った。

■施設の管理

・市民プール開設前の水難訓練に主任者2名、監視員6名以上の参加を義務付けたこと、実施前に水難訓練計画の見直しを実施したことで、開設期間中における安全対策を強化するとともに、プール事故や苦情トラブルもなく、安全管理に努めることができた。
・特に土日やお盆など利用者の増加が見込まれる日については、他施設からの応援職員を増やし安全管理に努めた。

【貢献性】

■地元の法人その他団体の育成

・障がい者の雇用や就労支援を促進するため、岐阜市民総合体育館及びびもえぎの里多目的体育館の除草作業を、(社福)岐阜市社会福祉事業団の一施設である就労継続支援B型事業所であるワークサポートあおやぎとワークサポートやないづと連携して障がい者の就労支援に努めた。

■その他、地域への貢献に関すること

・地域の各種団体へ出前講座を実施した。出展内容については、公認スポーツプログラマーや公認トレーニング指導士、公認初級バラスポーツ指導員の資格を有した職員が担った。また、スポーツに関する専門知識を生かして出展内容を計画・立案し、障がい者スポーツの普及にも取り組んだ。

〈実施した出前講座〉

①わくわくスポーツ体験(6月18日)

依頼団体:岐阜市子ども・若者総合支援センター 場所:岐陽体育館

内容:エールぎふの子どもを対象に、カラーリング、ボッチャ、ラダーゲッター、ストラックアウトの体験。

②軽スポーツで健康づくり(7月3日)

依頼団体:梅林公民館 場所:梅林公民館

内容:地域で暮らす高齢者を対象に、ボッチャの体験。

③親子で運動遊び(8月3日)

依頼団体:早田公民館 場所:早田公民館

内容:小学1年生から4年生までの親子を対象に、ボッチャとラダーゲッターの体験。

④エールサマーフェス(8月21日、22日)

依頼団体:岐阜市子ども・若者総合支援センター 場所:岐阜市中央青少年会館

内容:エールぎふの子どもを対象に、レクリエーション(輪投げ、ラダーゲッター)ブースを出展。

・体験した参加者からは、「準備運動が面白かったので、もう1回やりたい」とか、「こうやって投げたら上手くできた」等の声をもらい、またやりたいとの声も多くいただいた。また、地域で参加した高齢者からは、知らない人同士だったけど、お互いに声を掛け合いながらボッチャを楽しむ姿も見られ、良い雰囲気の中で活動することができた。来年度もこうした軽スポーツ体験ができる機会をもてるよう、依頼団体と調整を図った。
・岐阜市スポーツ推進計画に記載されている「市民の誰もが身近な場所で気軽にスポーツができる環境の整備を進めます」という計画に寄与すると同時に、それらの団体の活動場所として、体育館の利用へと繋げることができた。

・令和6年1月1日に発生した能登半島地震災害で被災された方々を支援するため、引き続き令和6年能登半島地震災害義援金を受け付けている。

・能登半島地震義援金箱に寄せられた義援金73,451円(令和6年4月1日～9月30日)は、日本赤十字社を通して被災地へ届けた。

前回までの意見を踏まえた取り組み状況	所管課の意見 ・施設の運営管理は適切に実施されているほか、限られた予算内での施設の修繕を実施するなど、施設の維持管理は大変評価できる。 ・トレーニング利用者をはじめ、施設利用者のニーズを積極的に把握し、施設運営に反映させている点は大変評価できる。 ・今後も施設を適切に管理運営し、利用者満足度の向上、更なる利用促進を図られたい。 指定管理者評価委員会の意見 ・利用者ニーズの把握をその種目を行う人に聞くだけではなく、幅広く意見を聞いていただきたい。 ・今後も南北の施設間において交流を持ちながら、新種目の対応や利用者ニーズに応え、更なる地域貢献に期待したい。 【利用促進に対する取り組み】 ・柔道場や剣道場などでヨガやダンスの利用など、引き続き、施設の多目的な利用を啓発することで、利用者の拡大・増加に努めた。 ・ニュースポーツ等のスポーツ用具貸出業務において、写真入り解説書を充実させた他、青少年会館と連携して「子ども会サポートプラン」に協力するなど、貸出業務の推進に当たった。 ・公認トレーニング指導士の資格を有する職員が、岐阜市民総合体育館第2トレーニングルーム（初心者向け）のサポートを開始し、専門のトレーナーがマシンの使い方や運動時間の目安など、ワンポイントアドバイスをすることで、利用者へのサービス向上と利用促進に努めた。 ・利用者アンケート及び常設アンケートに加えて、体育館利用者から幅広い意見を聞くための「利用満足度UP！アンケート週間」を実施した。 ・地域情報誌「咲楽（岐阜市版）」に市民プールを掲載してもらうため、南部市民プール及び本荘市民プールに加えて、長良川以北地域が管理する北部市民プールの情報提供も行った。 ・下半期においては、以南・以北でのスポーツ教室の参加者が交流して行うバレーボール交流会を開催する予定。 【安心・安全な施設運営を継続する取り組み】 ・施設の老朽化が進んでいるため、日常点検や職員による巡回を強化し、利用者の安全確保と事故防止に努めた。 ・管理者点検マニュアルに基づく施設点検の実施など、所管課と不具合箇所の情報共有を図りながら、施設の修繕については、優先順位をつけて適宜実施した。 ・市民プールにおいては、安全な運営のため、開設前の施設点検・修繕及び水難訓練等を実施した。その結果、プール開設期間中は、事故・怪我等なく安全に運営することができた。
今後の取り組み	【利用者の安全・安心を保つ施設運営に向けて】 ・トレーニングルームを有する施設において、トレーナーによる指導機会を設けることで、初心者や高齢者に対して安心・安全な利用環境を整える。 ・利用者が安心して、安全・快適に施設を利用していただけるよう、予防保全の観点から計画的な修繕を実施する。そのために、各体育館毎に詳細な施設点検表を作成・取りまとめ、計画的な修繕に活用していく。 ・利用者アンケートの声をしっかりと把握しながら、施設備品の更新も市民スポーツ課と協議して計画的に実施していく。 【SDGsに関する取り組みの推進】 ・体育館として第3項目目の「すべての人に健康と福祉を」について、あらゆる世代の人がいつでもスポーツに親しむ環境を作り、全職員がその一助となるようスポーツ教室の充実をはじめ、自主事業、出前講座の実施、スポーツ助成事業の啓発、障がい者スポーツの啓発等に取り組んでいく。 【利用者サービスの向上】 ・より多くの利用者からご意見やご要望をいただくため、今後も利用満足度UP！アンケート週間を実施する。また、アンケートでいただいたご意見やご要望については、すぐに対応できるものは迅速に実施し、利用者ニーズに的確に応える等、より良い施設運営を目指していく。 ・今期より開始した公認トレーニング指導士によるトレーニングルームのサポートを、他のトレーニングルームにおいても計画的に広げていきます。 【利用促進・利用者増の方策】 ・「岐阜市スポーツ推進計画2023-2032」に基づき、スポーツに親しむ市民及び新たな施設利用者の獲得に向けて、スポーツ教室の種目見直しを行う。 ・ホームページの他、X（旧Twitter）やInstagram等といったSNSを活用した広報活動に加え、地域情報誌など、多彩な広報手段を積極的に活用して、利用促進に繋げる。

●所管課の意見

- ・施設の管理運営は適切に実施されている。利用者アンケートを継続して実施するなど、利用者の意見を積極的に把握し、施設運営に活かすことで利用者増に繋げる取り組みは評価できる。
- ・今後も、限られた予算の範囲内で、施設の維持管理を適切に実施し、利用者満足度の向上に繋がられたい。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・施設利用者数の増減理由及び利用者ニーズの把握を行い、年齢層に合わせた情報提供をしていただきたい。
- ・今後もより一層、以北地域の指定管理者と情報共有を行い、事業効率化及び利用者の利便性向上に応え、更なる地域貢献に期待したい。